

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの2022年第2四半期連結累計期間（2022年1月1日から2022年6月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

当期間においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大はあったものの、経済活動は徐々に正常化に向かいました。またIT投資分野においては、企業のデジタル化への対応や競争力強化を目的としたIT投資需要は底堅く推移しました。当社グループでは、「お客様に寄り添い、DX・全商材で共に成長する」を2022年度のスローガンに掲げお客様接点の強化に努めました。

この結果、売上高は、4,453億36百万円（前年同期比4.6%減）となりました。利益につきましては、営業利益307億78百万円（前年同期比7.4%減）、経常利益317億47百万円（前年同期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益228億48百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

通期につきましては、先行き不透明感はあるものの景気は緩やかに回復していくことが期待されます。このような環境下において、お客様に寄り添い経営課題を解決できるようお客様を支援してまいります。2022年2月1日に発表した通期の業績予想に変更はありません。

当社グループでは今後も「ミッションステートメント」の具現化に努め、皆様の信頼に応えられるよう経営改革を進めてまいります。

株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年9月
代表取締役社長 大塚 裕司

〈2022年より新会計基準を適用〉

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年の売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間における売上高は、従前の会計処理と比較して減少しております。なお、2022年の増減額及び増減率の算定における前年同期の金額には当該会計基準等を適用しておりません。

本「大塚商会だより」においては、参考情報として、2021年12月期に当該会計基準等を適用したと仮定した場合の「参考増減率」を併記している箇所があります。